

せせらぎ

2024
vol.39

四万十川のせせらぎのようにやさしく、そしておおらかに...
患者さんに寄り添い共に歩む、真心のこもった医療を目指します



▲四万十川総合水防訓練にて

もくじ Contents

- 新規採用職員の紹介 2・3 P
- 当院DMAT隊の「能登半島地震」における派遣について.... 4 P
- 四万十川総合水防訓練が行われました..... 5 P
- 当病院外科 宇都宮俊介医師の論文が
『高知県医師会医学雑誌Vol.29 No.1
2024』に掲載されました..... 6 P
- 脳ドックはじめます 7 P
- 自動精算機を導入しました
- 熱中症にご注意ください
- 発熱外来について..... 8 P
外来診察医師担当表
中医鍼灸院だより



新規採用職員の紹介①

田村医師のご紹介

たむら やすあき 田村 康晃 医師(脳神経外科)



令和6年4月より常勤の脳神経外科医として赴任しました、田村康晃と申します。

茨城県出身で、高知大学卒業後は、高知大学医学部附属病院や幡多けんみん病院等で勤務してまいりました。四万十市立市民病院では医学生の頃に実習させていただいたこともあり、身近に感じておりました。中村も好きな街で、今回ご縁があって市民病院にて勤務させていただくこととなり、大変うれしく思っています。

当院はかつて、中四国有数の脳神経外科施設でありました。時は流れても、幡多の中心地である中村において、当科の需要は相当あると感じています。一人体制ではありますが、入院での治療も対応しておりますので、市民の皆様にも安心して暮らしていただければ幸いです。医療資源の面で、全身麻酔および血管内治療が必要な症例は、スムーズに幡多けんみん病院に紹介させていただきます。また、希少疾患は専門施設への紹介も可能です。もの忘れに対する処方なども行っておりますので、頭に関することで心配なことがあれば、何でもご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

●趣味 おいしいもの探し

頭部外傷(打撲)にご用心

— 高齢者頭部外傷では、軽症であっても積極的に頭部CTを施行するよう勧められる —
(頭部外傷の治療・管理のガイドラインより)

ザ・ドリフターズの仲本工事さんやドラゴンボール作者の鳥山明さんが「急性硬膜下血腫」で亡くなったことは記憶に新しいと思います。これらのケースでは頭部に相当なダメージが加わっていたと考えられますが、60歳以上では脳萎縮に伴う硬膜下腔の拡大により、頭部外傷により頭蓋内出血をきたしていても症状が出にくいとされます。皮下血腫(たんこぶ)ができるほどの頭部打撲であれば、頭部CTを撮影することで安心できる面もありますので、遠慮なく受診してください。また、頭部打撲の際に架橋静脈を損傷すれば硬膜下腔に「慢性硬膜下血腫」をきたし、打撲から1-2か月の期間をかけて麻痺等の神経症状が出現することがあります。血腫量が多くなければ内服のみで治ることもありますが、この慢性硬膜下血腫に対する穿頭術は脳神経外科で最も多い手術のひとつであり、幡多地域では当院あるいは幡多けんみん病院で施行可能です。反対に小児では、頭部CTによる放射線の影響を軽視できないため、頭部CT撮影のハードルをやや高くして診療しています。

市民病院からの お知らせ

脳神経外科の診療体制について

令和6年4月11日より当院の脳神経外科は、以下のような診療に変更となりました。ご理解の程よろしくお願いいたします。

【脳神経外科外来診察医師担当表】

	月	火	水	木	金
午前	田村Dr	田村Dr	休診 (急患のみ対応)	田村Dr	休診

新規採用職員の紹介②

看護師の上岡沙妃です。

以前は大阪の病院で勤務を行っていました。

四万十市の良さは自然が豊かなところだと思います。四季折々のイベントを全力で楽しみたいと思います。そして、この度地元に戻ってきて、地域の方々にも少しでも貢献できることをうれしく思います。

まだまだ未熟ですが皆さまが安心して治療に専念できる環境をつくれるように頑張りたいと思います。



かみおか さき
上岡 沙妃(3F病棟)



なんぶ ゆい
南部 由衣(検査科)

4月から検査科に配属になりました南部由衣と申します。生まれも育ちも四万十市で生粋の四万十人です。臨床検査技師としては7年目になります。この職種を選んだきっかけは高校2年生の進路に迷っている時に、医療関係の仕事をしている両親からの勧めで決めました。元々臨床検査技師の存在自体知らなかったのですが、エコーや心電図をとったり、細菌や血液を相手に顕微鏡をのぞいたり、肉眼では見えない世界を見ることが出来る職種です。

特に趣味などはあまりありませんが、自宅で動画や音楽を流しながらのんびり過ごすことがリラックス方法になっています。

慣れないことが多く大変な部分もありますが、先輩方の助けを借りながらも早く業務を覚えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

4月より放射線科に勤務させていただくことになりました。期待と緊張を抱え入社してから数か月が経ち、先輩方の優しく丁寧な接遇や撮影方法、機器の操作法等の技術や工夫に感化される日々です。また、積極的に経験を積ませていただける環境や丁寧な指導に感謝しております。出身は四万十市ですが、長く離れていたこともあり、毎日飛び交う幡多弁を聞くだけで温かく懐かしい気持ちになります。

趣味はキャンプです。自然に触れることで、リフレッシュやストレス解消ができます。

まだまだ経験不足・力不足でいろいろとご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、四万十の医療に貢献できるよう日々精進してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



みやた しゅうへい
宮田 修平(放射線科)



まつした めく
松下 愛(内科系外来)

内科系外来に配属になりました、松下愛です。

高知市内の急性期病院で10年ほど勤務していましたが、子育てとの両立を考え、四万十市に戻ってきました。

自然豊かな環境でのんびりと子育てできることを嬉しく思っています。

これまでの経験を活かして、地域の医療に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



昨年から外来で勤務しています、松原芽依です。

以前は高知市内の病院で勤務していましたが、いずれは地元の病院で働きたいと思っていたので、就職できてうれしく思います。

まだ不慣れなことも多くご迷惑をおかけしますが、丁寧な対応を心がけ地域の皆さまのお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



まつばら めい
松原 芽依(外科系外来)

当院DMAT隊(災害時派遣医療チーム)の「能登半島地震」における派遣について

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に、高知県からの派遣要請を受けて当院のDMAT隊も派遣されました。医師1名(濱川院長)、看護師2名(沖看護師、森看護師)、業務調整員2名(北川理学療法士、刈谷理学療法士)の計5名で、5日間の活動でした。現地でどのような指示をされても対応できるように万全の準備をして出発しました。災害時には物が不足することが想定される為、自分たちの食事はもちろんのこと、医療資器材や活動資器材についてもすべて持って行きました。移動は当院の救急車と公用車の計2台で行きました。雪が降っていたことや道路に亀裂や段差があったことで不安がこみ上げてきましたがなんとか能登半島に到着しました。

現地での活動は、高齢者施設への支援でした。具体的には、被害状況の把握、発熱者などの診療、食事介助や入浴介助の支援を行いました。濱川院長も診察に加え、食事介助や入浴介助を行い職種は関係なくチーム全員で対応をしました。施設職員ももちろん被災者ですので、職員の確保が難しい状況とのことでした。派遣されるタイミングや場所にもよりますが、その時に必要とされる支援、物資は異なるため、その時のニーズに対応することが求められます。そのために私達はどんな状況においても対応できるように日頃から準備しています。

今後発生すると言われていた南海トラフ地震、次は自分たちが被災する可能性があります。自分たちに何ができるのか?どんな備えが必要なのか?と、心構えが必要です。現地では被災された方からたくさんのお礼の言葉を頂きました。また、私達DMAT隊が支援に関わることができたのは、派遣に際し送り出してくれたスタッフや家族の協力があったからです。ありがとうございました。

被災地の一刻も早い復興を願っています。



四万十川総合水防訓練が行われました



令和6年5月12日(日)に、令和6年度四万十川総合水防演習が行われました。近年、毎年のように全国各地で豪雨による河川の氾濫など広域かつ甚大な被害が発生しており、四万十川においても、堤防からの溢水による浸水被害が発生しております。平成26年8月の洪水では、氾濫危険水位を超過し、戦後第3位の水位を観測する出水となりました。

今回の演習は、水防技術の向上・伝承及び水防団の士気高揚を図るとともに、「流域治水」の観点を踏まえ、幅広い主体が参加する実践的な訓練を行うことにより、地域社会全体における防災知識の普及、防災意識の向上、災害対処能力の更なる向上を図ることを目的に実施されました。

訓練当日は、国・自衛隊・警察・消防・医療関係・学校・企業等あわせて57団体、約450人が参加しました。当院からも医師・看護師・業務調整員から構成されるDMAT隊が、幡多けんみん病院、日本赤十字社高知県支部とともに参加しました。訓練では、浸水家屋から消防によって救出された被災者のトリアージおよび応急処置などを行いました。

今回の訓練では、参加した職員は日々研修などで学んだ知識・技術を活かす経験ができ、また病院としても訓練を通じて、職員の防災意識および医療技術向上に繋がる良い機会となりました。今後も地域の中核病院として、地域住民の命と健康を守る使命のもと、積極的に活動していきます。



当病院外科 宇都宮俊介医師の論文が 『高知県医師会医学雑誌Vol.29 No.1 2024』に掲載されました

以下、原著論文より抜粋。

当科における総胆管結石症に対する つり上げ式の腹腔鏡下胆管結石除去術の有用性について

要 旨

総胆管結石に対する一期的治療として近年、腹腔鏡下の胆嚢摘出術および総胆管結石除去術が行われている。同術式は二期的治療である内視鏡的乳頭切開術後の腹腔鏡下胆嚢摘出術にくらべて乳頭機能の温存、入院期間の短縮、医療コストの面から有用である。しかしながら腹腔鏡下での総胆管の切開や縫合などの操作に一定の技量を要するため施行している施設は少ない。当科ではつり上げ式で同手術を施行しており、総胆管の剥離や切開などの操作に開腹術と同様の器材を多く用いることが出来るため、開腹下での胆管結石除去の手技に慣れた外科医にとっては比較的容易に施行できると考える。今回われわれはその術式の特徴、治療成績、安全性、医療コストなどの面における有用性を検討した。

治 療 成 績

当術式の完遂率は100%であった。平均手術時間は 145 ± 32 分、平均出血量は 97 ± 55 ml、平均術後在院日数はTチューブ非留置例では 9 ± 3.7 日で、合併症としては少量の胆汁漏出を2例(6.2%)に認めたが術後3日以内に消失した(表1)。Tチューブを留置した2例では術後14日目に造影検査を施行した。2例のうち1例は結石の遺残がなく21日目に抜去し、もう1例は遺残結石を1個認めたため28日目に透視下にバスケットカテーテルで結石を摘出した後にTチューブを抜去した。上開腹部の開腹術(胃切除、胃全摘)の既往を有する症例は2例であったが腹腔鏡下に癒着を剥離して完遂できた。

表 1 手術成績 (2019年～2022年) n=33

完遂率	100%
平均手術時間 (分)	145 ± 32
平均出血量 (ml)	97 ± 55
合併症	2例 (6.2%)
術後平均在院日数 (日)	9 ± 3.7
(Tチューブ留置例を除く)	



当術式にかかる医療コスト

表 2 腹腔鏡下胆嚢摘出術に必要な機材のコスト

気腹式 (円)		つり上げ式 (円)	
トロッカー4本 (ディスポ)	48640	トロッカー4本 (リユース)	0
気腹ガス	500	使用せず	0
エンドクリップL	28020	使用せず	0
縫合糸	4400	縫合糸	4500
エンドキャッチ	16840	エンドキャッチ	16840
合計	98400	合計	21340

脳ドックはじめます

当院では、令和6年8月13日より脳ドックを開始します。

脳ドックは、脳に関係する疾患の診断もしくは疾患のリスクの早期発見を目的として行う健康診断の一種です。ご自身の脳の健康について考える機会として是非ご活用ください。

なお、ご予約が必要となりますので、事前に当院までご連絡をお願いします。【088-34-2126】

【検査コース】

①脳ドックのみ

実施内容	検査料金	実施日
血液検査, MRI検査 MRA検査, 頸動脈エコー検査 専門医の診察	35,000円	第2・4木曜日 (2名まで/日)

②人間ドック+脳ドック

実施内容	検査料金	実施日
人間ドックの検査内容 + MRI検査, MRA検査 頸動脈エコー検査 専門医の診察	人間ドックの料金 + 25,000円	毎週火曜日 (2名まで/日)

topic

自動精算機を 導入しました

令和6年度より、1階ロビーに自動精算機を設置しました。4月からは窓口での精算だけでなく、自動精算機を使った精算ができるようになっています。

ご不明な点がございましたら、お気軽に病院スタッフにお尋ねください。

使い方

- ①バーコードが印字された用紙をバーコードリーダーにかざす。
(もしくは診察券を挿入する。)
- ②画面にお名前や金額の情報が表示されるので、確認後支払いをおこなう。
- ③領収書等が印刷されるので、それらの用紙を持ち帰る。



熱中症にご注意ください

- ①室内や外出中を問わず、こまめな水分補給を心掛けるようにしましょう。
- ②なるべく暑さを避けることも大切です。室内にいる時は扇風機やエアコンで室内温度の調節をおこない、また、外出時には、帽子を着用したり、日陰で休憩をとるようになるなど熱中症の予防を意識した行動をとるとよいでしょう。



発熱外来について

○診察時間：月～金曜日(祝日は除く)

午前9時～午後5時

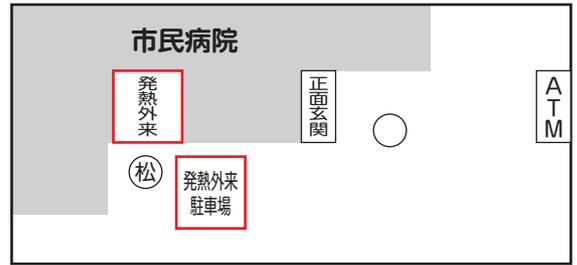
※予約時間内であっても予約状況や診察体制により
受付を終了する場合があります。

○予約受付時間：午前8時30分～11時(平日のみ)

○受診方法：必ず電話での事前予約が必要となります。

【電話番号：0880-34-2126】

○場 所：病院西側の健康管理センター内



外来診察医師担当日表

令和6年5月27日より

		月	火	水	木	金					
内 科	午前	初診 予約外	濱川公祐	初診 予約外	山本ゆい	初診 予約外	鈴木光哉	初診 予約外	山本ゆい	初診 予約外	西尾美紀
		予約	鈴木光哉	予約	※要致嘉	予約	樋口佑次	予約	※要致嘉	予約	山本ゆい
		予約	西尾美紀	予約	鈴木光哉 (第1・3・5) 濱川公祐 (第2・4)	予約	山本ゆい (第1・3・5) 西尾美紀 (第2・4)	予約	西尾美紀	予約	濱川公祐
	午後	予約	※佐田憲映 (不定期)	予約	濱川公祐	予約	濱川公祐	予約	濱川公祐	予約	山本ゆい
		予約	鈴木光哉	予約	樋口佑次 (第3・4・5)	予約	鈴木光哉	予約	樋口佑次	予約	樋口佑次
		予約	鈴木光哉	予約	西尾美紀	予約	鈴木光哉	予約	※竹田修司 (第3)	予約	樋口佑次
脳神経 外 科	午前	田村 康晃	田村 康晃	休診 (急患のみ対応)	田村 康晃	休診					
外 科	午前	宇都宮俊介	(検査)	宇都宮俊介	(検査)	宇都宮俊介					
整 形 外 科	午前	河内 通	坪屋 英志	河内 通	坪屋 英志	河内 通					
泌 尿 器 科	午前 午後	休診	休診	※齊藤源頭 (午前9時～)	休診	※香西哲夫 (午前9時～)					

※印のある医師は非常勤医師です。

●受付時間 午前8時30分～

初診・予約外の方：午前8時30分～11時まで

※受付時間を過ぎて受診される場合は、必ずお電話でのお問合せをお願いします。

●診療時間 午前8時30分～午後5時15分 (急患の場合はこの限りではありませんので、まずはお電話ください)

●休 診 日 土曜日・日曜日・祝日及び年末年始

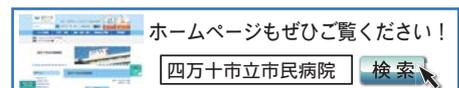
中医鍼灸院だより

診療日 9時～17時まで※水・日曜日は休診日です。

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	—	○	○	○	—
午 後	○	○	—	○	○	○	—

TEL 0880-34-4798 ※予約制

年末年始の診療について 年末年始は通常通り診療いたします。



発行元
 四万十市立市民病院広報委員会
 〒787-0023
 四万十市中村東町1丁目1番27号
 TEL(0880)34-2126・FAX(0880)34-1861